

## 第156回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年10月12日（水）16：30～16：40
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

### （1）新型コロナウイルス感染者の状況等について

（保健福祉部長）

資料1、5ページをお願いいたします。

#### 【資料1】

昨日の新規陽性者数は986人です。

連休明けの影響もあるかと思われませんが、前の週の同じ曜日を大きく上回っております。

次に、4ページ。

10月11日現在の療養者の状況です。

入院者は129人、うち重症者が0人となっております。

宿泊療養施設入所者数は133人となっております。

なお、即応病床数につきまして、通常医療との両立を図るため、755床から658床への移行へ向けて調整を開始いたします。

次に、6ページ。

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は、203.80人このところ200人前後の水準で推移しております。

次に、8ページ。

病床使用率は17.0%。10月7日以降20%を下回り、レベル1の水準で推移しております。

次に、11ページ。モニタリング指標です。

「人口10万人当たりの新規陽性者数」（203.80人）が、レベル3、

「病床の使用率」（17.0%）、「重症者用の病床使用率」（0.0%）が、レベル1となっております。

## (2) 新型コロナワクチンの接種状況等について

(病院局長)

13ページ、資料3をお願いします。

### 【資料3】

接種実績につきましては、10月10日時点の全人口に対する接種率は、1・2回目接種、いわゆる初回接種を完了した方が85.2%、3回目接種が72.6%となっております。4回目接種は接種回数が631,410回となっております。

また、オミクロン株対応ワクチンの接種回数は、26,702回、全人口に対する接種率は1.5%となっております。

なお、3回目接種及び4回目接種には、オミクロン株対応ワクチンの接種回数が含まれております。

次に、資料上段右側ですが、5歳以上11歳以下の小児の接種率は、1・2回目接種、いわゆる初回接種を完了したお子さんが41.6%となっております、先月6日から始まった3回目接種の回数は、2,919回、接種率は2.9%となっております。

次ページをお願いします。

オミクロン株対応ワクチンの接種対象は、初回接種を完了した12歳以上の方となります。県では、記載の4市において大規模接種を行っておりますので、初回接種がお済みでない方はぜひ御予約くださるようお願いいたします。

次ページをお願いします。

ワクチン接種を巡る国の動きについて御報告いたします。

先週10月7日、国において厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会が開催され、有効性、安全性や感染の状況を踏まえ、6ヶ月から4歳の乳幼児についても特例臨時接種とされるとともに、努力義務が適用されることとなりました。接種回数は3回となります。

また、オミクロン株BA.5に対応したワクチンについて、初回接種を終了した12歳以上の方を対象とし、接種回数は1回となりました。

県といたしましては、市町村と連携して、接種が円滑に開始されるよう引き続き配送等の準備を進めるとともに、年末の感染拡大に備え、新型コロナワクチンをできるだけ多くの方が接種できるよう、接種促進に取り組んでまいります。

(金光教授)

ここ最近はコロナの新規陽性者が減っているとのニュースを聞いて安心している県民の方も多くいらっしゃると思います。

ところが本県においてはなかなか厳しい状況で、下げ止まり、特に昨日の986人は9月中旬に逆戻りという状況にあります。

それでも行動制限をかける状況には至っていないと思いますが、ぜひ感染対策だけは緩みがないよう、そして、今の時期にワクチンを積極的に予約、準備、接種していただけるようお願いしたいと思います。

これから空気が乾燥する、あるいは寒くて換気もままならない、そういう悪い条件が重なっていきます。

第8波がいつ来るか分かりませんが、できるだけ、みんなの力で（第8波の到来が）後回しにするよう努力すべきだと思います。

(知事)

はじめに、県民の皆様への命と健康を守るため、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力いただいている医療関係者の皆様に、心から感謝を申し上げます。

また、県民の皆様、事業者の皆様においては、日々の様々な場面において、感染拡大防止への御理解と御協力を頂いています。皆様ありがとうございます。

全国では、新規陽性者数が2万人を下回る日もあるなど、減少傾向が続いています。

一方、福島県においては、連続して前の週の同じ曜日を上回る日が見られ、昨日の新規陽性者数は千人に迫るなど、下げ止まりの傾向が見られます。

そのため、県民の皆様においては、気を緩めることなく、引き続き、基本的な感染対策に努めていただきますようお願いいたします。

まず、旅行等の移動時における感染対策についてです。

昨日（10月11日）から全国旅行支援が始まりました。本県でも『福島県「来て。」割』を開始したことから、今後、旅行等で移動する機会が多くなると思います。

移動時は感染リスクが高まりますので、御自身の体調管理はもちろん、移動中の車内でもマスクの正しい着用や換気など、感染防止対策の徹底をお願いします。

また、出発前に、行き先の感染情報を確認するとともに、混雑する場所や感染リスクの

高い場所では十分注意するようにしてください。

旅行等からお帰りになられた後も、1週間程度は特に注意をするなど、引き続き、感染対策をお願いします。

次に、秋の行楽シーズンにおける感染対策です。

お祭りや行楽等でお出掛けになる機会も多くなることと思います。いつもと違う行動をとることにより、感染リスクも高まりますので、特に次の3点に注意をしてください。

1つ目は、普段会わない人と会う機会が多くなりますので、「体調が悪い時は人と会わない」、「マスクを正しく着用する」、「人と人との距離を確保する」などの対策をお願いします。

2つ目は、飲食時は感染リスクが高まりますので、「短時間で行う」、「距離を取る」、「会話時はマスクを着用する」、「大声での会話は控える」などの対策をお願いします。

3つ目は、お祭りやイベントの前後における感染対策です。

イベント開催時はもとより、事前準備や反省会等で集まる際にも、感染することがないように、見る側や参加する側だけでなく、運営する側も、しっかり対策を講じていただくようお願いいたします。

加えて、ワクチン接種がお済みでない方は、御自身や大切な方を感染から守り、感染拡大を防止するためにも、速やかな接種をお願いします。

全国では、新規陽性者の減少傾向が続いている一方で、県内では下げ止まりの傾向も見られます。

そうした中で、昨日より、外国人観光客への水際対策が緩和をされ、全国旅行支援もスタートしています。

これから、旅行や行楽、イベント等にお出掛けになる機会が多くなると思いますが、社会経済活動との両立に向け、様々な場面でお一人お一人が気を緩めることなく、基本的な感染対策を徹底していただくことが重要です。

引き続き、県民の皆様、事業者の皆様の御理解と御協力をよろしく申し上げます。